

# 報 告 書

開催日時	平成 27 年 10 月 15 日 (木) 19:00~20:50	
開催場所	大鶴公民館	
出席議員	(1 班) 嶋崎、石橋、高瀬、三苫、梅原	
	班 長	高瀬
	司 会 者	高瀬
	記 録 者	梅原
参加人数	15 名	
主な要望 ・ 提 言 等	<p>○A氏</p> <p>1. 婚活とありますが、若い方は参加するかもしれないが40~50歳の独身男性が多い。子供を育てるのも大変だが、その前の段階が結婚であり、このような婚活を執行部に提案できるのか。</p>	
	<p>どの地域も若い人ではない独身がいる。婚活は若い人が対象だが、形としては、独身者を知っているのは地域の方たちである。地域の方たちの協力を得なければ結婚に至らない。知恵と工夫を市民全体で出しながら取り組んでいき、啓発等を中心にやっていく必要がある。</p>	
	<p>2. 市の補助金を地域振興協議会から申請してもらおうが、振興センター管内の方が、振興局管内よりも補助金をもらう機会が少ない。</p>	
	<p>周辺地域の活性化事業の補助金は、全体的には使いきれていない。毎年の不用額があるはず。大鶴で足りない分は、他のところから回せる。どうしても足りないなら、振興協議会に要望を出してはどうか。</p>	
	<p>3. 振興センターは、センター長と臨時職員の2名であり、前回の台風で臨時職員が出勤できず、電話等対応ができなかった。大鶴、夜明で若い職員を兼務でよいので一人お願いしたい。</p>	
	<p>災害等の際に対応ができないということなので、大鶴に0.5人、夜明に0.5人で、計1名を配置要望として総務に伝えておく。</p>	
	<p>4. 情報の共有をしたいので、他の地域の意見を知りたい。 まとめたものでも提言でも「市議会だより」にでも入れてほしい。</p>	
	<p>皆さんの意見を1~4班ごとに整理し、来月、市議会として提言書を提出する。それを各常任委員会で整理し、担当部長に直接提出し、市長に最後は行く。総合計画に取り入れ、そして来年度の予算に取り入れてもらう。聞きっぱなしではない。</p>	

○B氏

1. 総合戦略の取組は、市民が見て分かりづらい。現状はどうか。5年後に何がしたいのか。目的、目標あるいは、数値を出さないと取組的には難しいのではないか。

国は漠然とした計画では交付金を出さないとやっている。総合戦略では、最終的にはきちんとした1年後、2年後の数値を明確に入れ盛り込む。皆さんの意見を聞いて、これからまとめて市長部局に提案書という形で提出する。

2. 議員は将来的な5年後の人口ビジョンの案を持っているのか。

大鶴の人口は以前5000人、今は1500人。昔は多くの農家が、どこかに勤めているという状況であった。特長ある状況を地域で創っていかなければ雇用もないし、人を補う部分もない。となれば、結婚して子供を産まない。以前と現在の違いをみると、それはお金の問題ではなく、以前なら4~5人生んでいたものが、今は2人生むのも大変になっている。1500人からどうやって増やしていけばいいのか、我々も答えとして出せない。5年後にどのくらいの目標と言われても非常に難しい。

3. 議員としてこれ位いたらいい、という目標を立てて最終的にはそれに到達しないでも、その過程が大事であって人口目標を持っておかないと説得力もない。例えば、観光客が何人来ているか。将来的にこれを何%増やすか。そういう構想を持った中で、そのためにどういう政策をとっていくのが一番妥当なのか考えてもらいたい。

観光・水郷日田の復活において、観光関連の数字は、市が完全に集約している。現在がこうだから、政策を打つことによって目標をどのくらいに持っていくかということは、目標が大き過ぎてそれに到達しないような不可能なものではダメなので、審議会の中で数値を盛り込みながら、ここらあたりが妥当ではないか、またそれに近づくような実績を上げられるのはどれくらいなのか、数値等についてはきちんと整理したい。

議会もそれを審議委員会で民間団体の方と一緒に審議して、最終的に総合戦略として今年度中に出来上がる形となる。議会もその中に提案する形となる。

○C氏

1. 雇用がないから長男が出て行って帰ってこない。子供が帰ってこないから子供がいない。巡り巡っていると思うので是非雇用の創出を考えていただきたい。

雇用の創出、大企業の誘致がベストであるが、大企業が地方に向くような時代ではない。今ある資源でもって、3、4人でも雇用の場を創出することが、地方創生の事業の中で大事である。

2. 高齢者が住み慣れた地域の介護施設で安心して生涯が送れるような老後の社会を創って欲しい。

○D氏

1. 周辺地区も少子高齢化が進んでおり、大鶴地区も鶴城地区が高齢化率46%。数年後には大鶴地区全体で40%以上になる。福祉の面を充実してほしい。バスがあるが買い物や病院等1日1往復では、帰りの便がない。地域でできることは地域でやろうと考えているので、地方創生もできるところからやっていただきたい。

日田市全体を福祉の町として売り込み、人を呼んではどうか。

○E氏

1. 会社に勤めているが、アルバイトやパートが多く、これを改善しなければ結婚、出産までいかない。正社員雇用の努力してほしい。

○F氏

1. 農林業の後継者がいないと言うが、後継者支援の充実とは何か。U・Iターンの人に農業機械の購入支援とか、思い切った日田市独自のカラーを出してはどうか。

農業分野では、農業新規者に年間最高150万円支援を5年間継続し生活費、又は農機具購入費に使用してもよい制度がある。日田市は大分県の中でもここ3年の新規農業者が、3本の指に入るくらい多く来ている。まだPR不足のところがあり、市は補助金の説明だけでなく、自立するまではできるだけ面倒を見るなど、支援を充実させたい。後継者問題は、農業委員の方が全地区に何名かいるので後継者がどんな問題を抱えているか。また、どんな支援が必要なのか。どこまで行政ができるのか。など話し合いの場を持ち提案をしていく。

上津江では、若い人で林業に就きたい人もおり、決していないわけではない。また、やめる方もいるが、家を建て、定住する人もいる。これは良い刺激になっている。空き家を低価格にし、市営住宅の払い下げなどの住宅支援や、学校跡地に企業を誘致するには、日田市独自で企業が来やすい、使いやすい、緩和策を行っている。

2. 空き家に帰って来て、地域になじめない人がいる。自治会に入らず会費も払わない。自治会で創ってきた行事なども、他の人を逆方向に先導して、まとまって出てこないところもある。空き家に入居する人には、事前に説明して納得した形で来てもらうのが良い。

#### ○G氏

1. 魅力ある日田市を考える中でどこにも負けない九州一の特産品や得意なブランド化を考えているか。それが目玉ではないか。

市長は方針として地域力などの日本一を考えている。議会も方向性を持ちながらやっていかなければならない。

2. 大肥郷も米を作るだけの体制になっている。昔、大鶴は有名な米どころだったらしい。一俵8000円を12000円で売れるコメのブランド化などが必要である。生き残りが難しいのではないか。

予算的に言えば、より高い梨にするために補正予算で保冷庫を建てる予定である。梨の選果場に梨の糖度を測る選別機を以前導入し、台湾の方に出荷している。それをできるだけ高い値段となるよう、時期をずらしての出荷に取り組んでいる。

日田のブランドは、森、水、みどりである。

#### ○H氏

1. 補助金で基盤整備をしているが、宅地にしたくても変えられない。売買もできない。家や小屋も立てられない。農振地区に入っているのに許可できない。業者が来ても売れない。どうにかしてほしい。

農業委員の方に用途変更の申請をまず取る形になると思うが、農振地区が広くかかっていた場合に一部のみを除外することは、ちょっと我慢してもらいたいという話が、法に基づき出る可能性はある。

○I氏

1. ショッピングセンターを作ったらどうか。また、無料バスでショッピングセンターへ行かせてはどうか。

他の地区からも作って欲しいとの声が出ている。商店街連合会とも話し合いをしていかなければならない。

○J氏

1. 日田市が誇れるのは、林業だと思う。東京からお客が来たとき日田の美林を紹介したい。美林を観光の目玉にしてはどうか。美林を指定していただければありがたい。

○K氏

1. 大学誘致について

林工や農業試験場があり、これだけ林業のフィールドがあるので県とタッグを組みながら、県や国の研究施設、林業関係の学部を誘致する努力をすることを提言したい。

○L氏

1. 市長と職員は仲直りできたのか。ある議員の方が質問をしていたが、市民から見たら、おかしいことである。選挙の時、市の職員が反対のことをやった。

災害の時は全員が一致団結して激甚災害の指定を受けた。市長や職員はできる限り市民を幸せにするため、取り組んでいくのが本来の姿ではないのか。身近な選挙ほど、いつまでもしこりが残るので、議会の皆さんが都合よく仲を取っていただきたい。